

報告事項 No. 1 資料

1 教科に関する調査

(1) 本市の校種、教科ごとの「比較的できている点（◇）」と「課題があると考えられる点（◆）」について

ア 小学校 国語

◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることはできている。

◆引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

イ 中学校 国語

◇表現の効果を考えて描写することはできている。

◆互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることに課題がある。

ウ 小学校 算数

◇小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることはできている。

◆日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述することに課題がある。

エ 中学校 数学

◇与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることはできている。

◆数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題がある。

オ 中学校 英語

◇音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用することはできている。

◆社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことに課題がある。

(2) 本市の校種、教科に共通する課題

目的に応じて必要な情報を関連付けて整理し、自分の言葉でまとめたり、自分の考えを表現したりすること。

(3) 本市の共通する課題に関する設問

ア 小学校 国語

(ア) 問題 2 四

〇 〇 〇 〇
(条件)

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

(参考文けん)

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しやすいため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎかっこ()でくくること。
ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
百四十字以内にまとめて書くこと。

四

花山さんは、「集めた情報」をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、
どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

2

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないかな。なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル2022」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

〈図〉



2

花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。次の【花山さんの文章の一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

(イ) 出題のねらい

引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

(ウ) 正答例

「生活と太陽」という本には「白や熱や光を反しやする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光を吸収し、熱くなりやすい。」と書かれている。特に強い日差しが照り付ける炎天下では、黒い服より白い服を着る方が、すずしく過ごすことができる。そうだ (123 字)。

※正答の条件は「本の題名」、「本文の一部の内容」、「自分の考えたこと」、「140 字以内」を満たすこと。

(エ) 結果

a 正答率 川崎市…35.8% 全国…33.5%
無解答率 川崎市…7.3% 全国…5.2%

b 主な誤答 「自分の考えたこと」は書けているが、その根拠となる「本の題名」や「本文の一部の内容」を抜き出していない・・・26.6%

(オ) 共通する課題との関連

本市においては、様々な場面で自分の考えを書き表す言語活動の工夫は見られるようになってきた。しかし、「自分の考えたことは書けているが、その根拠となる本の題名や本文の一部の内容を抜き出していない」児童が、26.6%いる。そのことから、引用した部分を自分の考えのように書いたり、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にできなかったり、自分が考えたことだけを書いたり、自分の考えをより説得力あるものにするために、目的に応じて必要な情報を取り出したり、整理したり、根拠を引用したりしていくことに課題がある。

イ 小学校 算数

(ア) 問題 1 (4)

- (4) はやとさんは、図2のような直方体の箱に入ったおかしを宅配便で送ろうとしています。

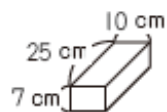


図2

A社の宅配便で送るとき、直方体の荷物の送料は、3辺の長さの合計で決まります。

3辺の長さの合計を求める式

$$(\text{縦の長さ}) + (\text{横の長さ}) + (\text{高さ})$$

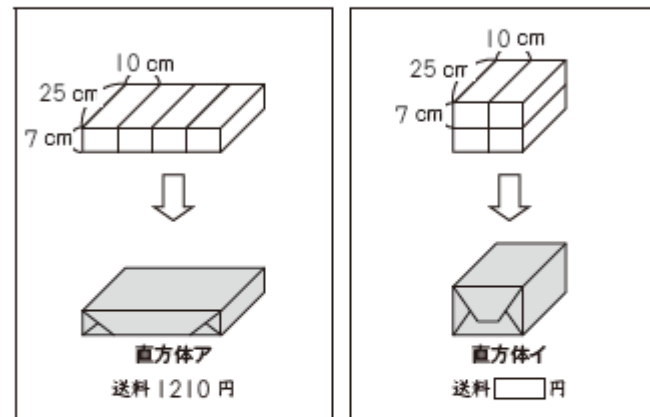
3辺の長さの合計が100 cm以下の荷物の送料は、下の表のとおりです。

A社の送料

3辺の長さの合計	送料
60 cm 以下	920 円
60 cm より大きく 80 cm 以下	1210 円
80 cm より大きく 100 cm 以下	1510 円

図2のおかし1箱の場合、3辺の長さの合計は、 $25 + 10 + 7 = 42$ で42 cm です。42 cm は60 cm 以下なので、送料は920 円です。

はやとさんは、図2のおかし4箱をまとめて紙で包み、1つの直方体の荷物にして送ります。まとめ方によって送料にちがいがあるかを調べるために、下の2つのまとめ方でできる直方体アと直方体イの送料を求めることにしました。



直方体アの送料は1210 円です。

直方体イの送料は何円ですか。

直方体イの送料の求め方を

- ・3辺のそれぞれの長さ (縦の長さ、横の長さ、高さ)
- ・3辺の長さの合計

がわかるようにして、数や言葉を使って書きましょう。

また、送料が何円になるのかも書きましょう。

ただし、紙の厚さは考えないものとします。

(イ) 出題のねらい

日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できる。

(ウ) 正答

次の①、②の全てを書き、送料を 920 (円) と書いている。

① 直方体イの 3 辺のそれぞれの長さ (縦の長さ、横の長さ、高さ) を表す数や言葉

② 直方体 1 イの 3 辺の長さの合計を表す数や言葉

(エ) 結果

a 正答率 川崎市…53.1% 全国…45.2%

無解答率 川崎市…6.7% 全国…5.8%

b 主な誤答

図 2 の直方体の箱の 3 辺のそれぞれの長さや 3 辺の長さの合計を書いている……………9.7%

送料は 920 円と解答しているが、①または②のみを書いている……………6.5%

(オ) 共通する課題との関連

本市においては、具体物や図を使って問題場面を把握したり、式と図を関連付けて考え方を捉えさせたりするなど、授業に工夫が見られる。しかし、問われている問題とは別の図を用いる児童や、求め方の説明に不足がある児童が 16.2%いることから、必要な情報を捉えて場面を把握し、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述することに課題がある。

ウ 中学校 英語

(ア) 問題 10 (2)

中学生のまいこ(Maiko)が英語の授業でインターネットの使用に関する文章を書きました。次の(1)と(2)の問いに答えなさい。

【まいこが書いた文章】

Today, many junior high school students use the internet to play games. However, I think we should use the internet for learning more often because it is useful. For example, there are many good videos for learning English. They are easy to understand. Also, there are many good dictionaries on the internet. We can find the meaning of an English word quickly.

Do you think my opinion is good?

(2) まいこの質問に対する「あなたの考え」と「なぜそう考えるのか」を、英語で書きなさい。【まいこが書いた文章】にある表現を使って書いてもかまいません。

<解答欄> ※半角で入力してください

Do you think my opinion is good?

あなたの考え

なぜそう考えるのか

(イ) 出題のねらい

社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる

(ウ) 正答

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

条件① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。 〈解答欄〉の「あなたの考え」に該当する部分

条件② 条件①の理由を書いている。 〈解答欄〉の「なぜそう考えるのか」に該当する部分

- ・ Your opinion is good. Students can get a lot of information for learning on the internet.
- ・ Yes, I do. Because we can practice and learn English for free on the internet.
- ・ I agree with you. I often use the internet to study English.
- ・ No, I don't. Because the internet is not good for our eyes.

(エ) 結果

a 正答率 川崎市・・・36.7% 全国・・・27.8%
無回答率 川崎市・・・11.9% 全国・・・14.6%

b 主な誤答

条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの・・・32.9%

例 I think your opinion is good. I think students will find is very good.

条件①を満たして解答しているが、条件②に関わる記述がないもの・・・5.4%

例 Your opinion is good.

(オ) 共通する課題との関連

本市においては、条件①「自分の考え」を書いているが、条件②「なぜそう考えるのか」を書いていない生徒が 32.9%、無解答の生徒も 11.9%おり、①文章の内容が読み取れず、書くべきことが分からなかった、②文章の内容は読み取ることができたが、何を書いたらよいのか思い浮かばなかった、③文章の内容は読み取ることができ、書く内容も思い浮かんだが、英語の表現が分からなかった、などが考えられる。書かれている文章の内容と問われていることを確認した上で、書き手の意見に対して、賛成か反対などの立場を明確にさせ、それを「自分の考え」として書くことに課題がある。また読み手に伝わる表現となるように伝えたい内容を正確に書くことに課題がある。

2 学習や生活習慣に関する質問調査

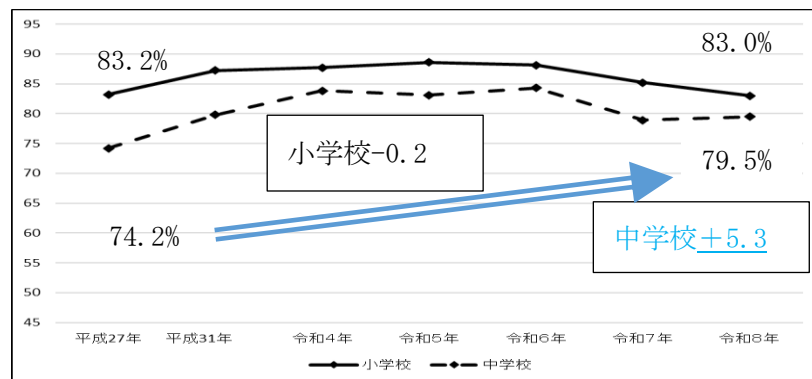
(1) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等

- ・比較数値 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した肯定的な割合
- ・注目結果 平成27年度と比較して、±5ポイント以上の開きがある場合は、⇒をつけた。(赤：小学校、青：中学校)

ア 国語

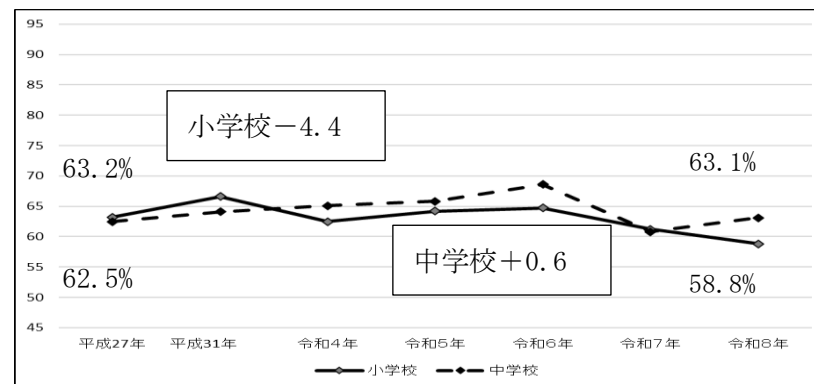
平成27年度と比較すると、「国語の授業の内容はよく分かる」について、中学校では5.3ポイント高くなった。

国語の授業の内容はよく分かる



	H27	H31	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	参考全国 R
小	83.2%	87.2%	87.7%	88.6%	88.1%	85.2%	83.0%	81.5%
中	74.2%	79.8%	83.8%	83.1%	84.3%	78.9%	79.5%	76.8%

国語の勉強は好き

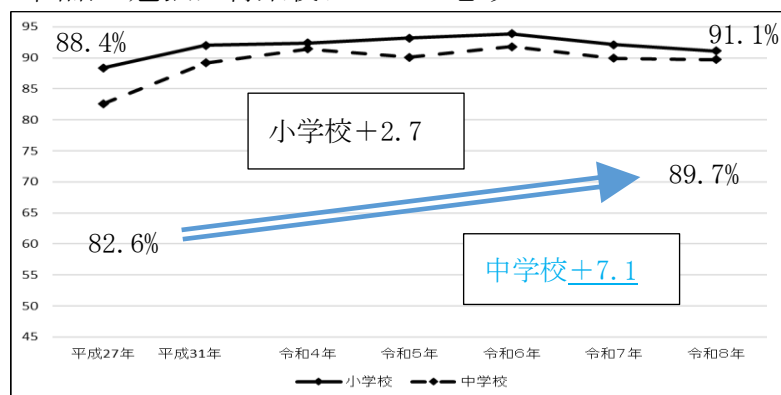


	H27	H31	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	参考全国 R8
小	63.2%	66.6%	62.5%	64.2%	64.7%	61.2%	58.8%	57.4%
中	62.5%	64.1%	65.1%	65.8%	68.6%	60.8%	63.1%	57.2%

平成 27 年度と比較すると、「国語の勉強は将来役に立つと思う」について、小学校では 2.7 ポイント、中学校では 7.1 ポイント高くなった。

今後も、「全ての子どもが分かる授業」を目指して主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組み、国語を学ぶ意義や言葉を扱うことのよさを実感しながらより主体的に学べるよう、指導の工夫に取り組むことが重要である。

国語の勉強は将来役に立つと思う



国語の勉強は得意だ

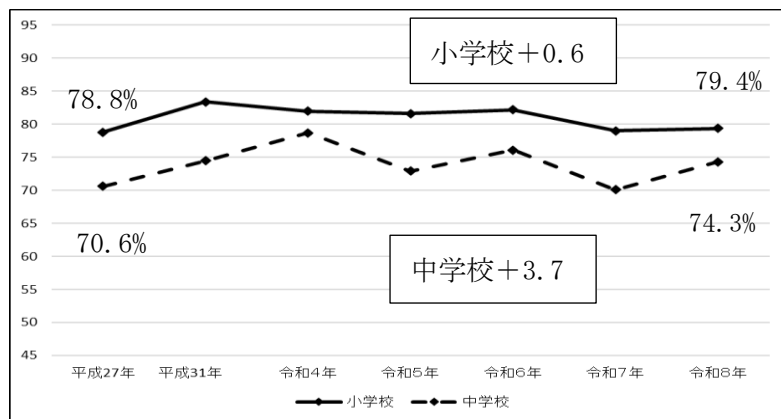
	R 7	R 8	参考全国 R8
小	64.7%	61.9%	60.4%
中	54.7%	55.3%	51.6%

	H27	H31	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	参考全国 R8
小	88.4%	92.0%	92.4%	93.2%	93.9%	92.1%	91.1%	90.4%
中	82.6%	89.2%	91.4%	90.1%	91.8%	89.9%	89.7%	88.2%

イ 算数・数学

平成 27 年度と比較すると、「算数・数学の授業の内容はよく分かる」について、小学校では 0.6 ポイント、中学校で 3.7 ポイント高くなった。

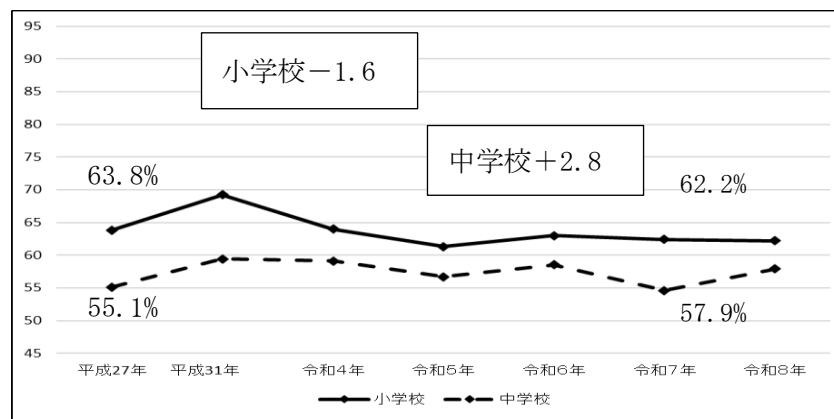
算数・数学の授業の内容はよく分かる



	H27	H31	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
小	78.8%	83.4%	82.0%	81.6%	82.2%	79.0%	79.4%
中	70.6%	74.5%	78.7%	72.9%	76.1%	70.1%	74.3%

参考全国 R8
77.5%
74.2%

算数・数学の勉強は好き



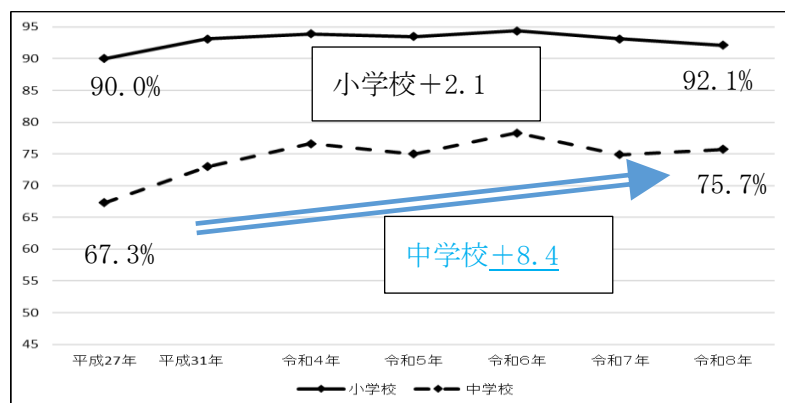
	H27	H31	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
小	63.8%	69.2%	64.0%	61.3%	63.0%	62.4%	62.2%
中	55.1%	59.4%	59.1%	56.7%	58.5%	54.6%	57.9%

参考全国 R8
57.6%
56.1%

平成 27 年度と比較すると、「算数・数学の勉強は将来役に立つと思う」について、小学校では 2.1 ポイント、中学校で 8.4 ポイント高くなった。

今後も、きめ細やかな指導の充実を図りながら、中学校では、身に付けた資質・能力を実感させられるよう、児童生徒の疑問を大切に、目指す姿を明確にした授業展開を心がけることが重要である。

算数・数学の勉強は将来役に立つと思う



	H27	H31	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
小	90.0%	93.1%	93.9%	93.5%	94.4%	93.1%	92.1%
中	67.3%	73.0%	76.6%	75.0%	78.3%	74.9%	75.7%

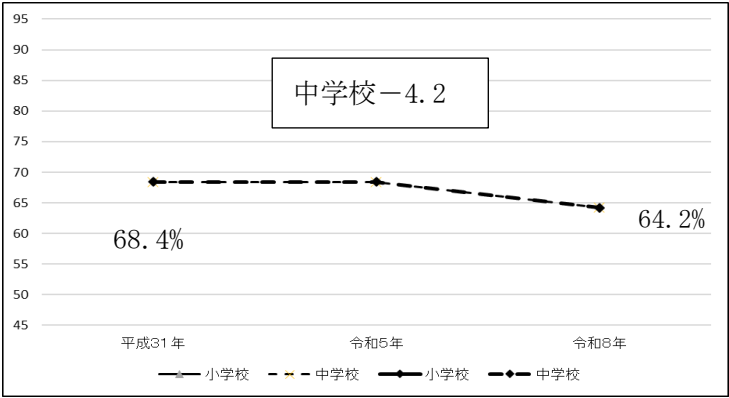
参考全国 R8
91.0%
76.5%

算数・数学の勉強は得意だ

	R 7	R 8	参考全国 R8
小	63.1%	63.3%	60.1%
中	46.5%	49.9%	48.5%

ウ 英語

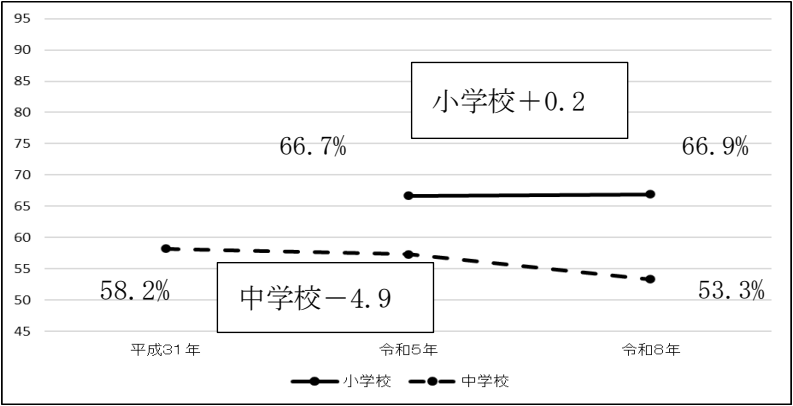
英語の授業の内容はよく分かる



	H31	R 5	R 8
小	—	—	—
中	68.4%	68.4%	64.2%

参考全国 R8
—
64.2%

英語の勉強は好き



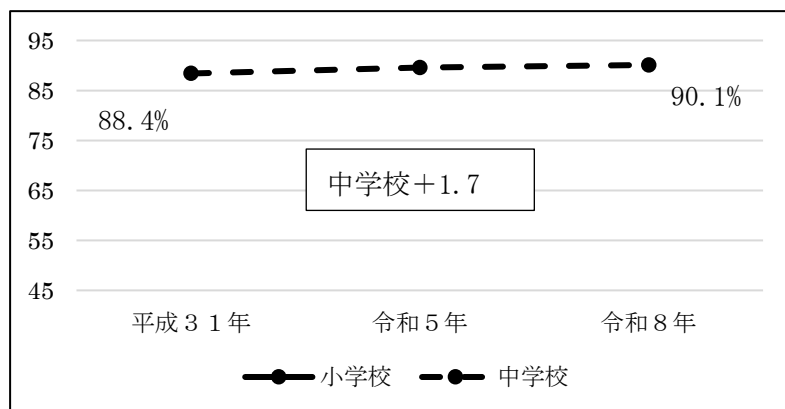
	H31	R 5	R 8
小	—	66.7%	66.9%
中	58.2%	57.3%	53.3%

参考全国 R8
66.7%
51.2%

平成 31 年度と比較すると、「英語の勉強は将来役に立つと思う」について、中学校で 1.7 ポイント高くなった。

今後は、生徒が目的意識をもって英語で自分の考えや気持ちを伝え合う活動に取り組み、対話を通して考えを広げたり深めたりしながら、自分の考えを表現する力を高めることができるよう、授業改善に取り組むことが重要である。

英語の勉強は将来役に立つと思う



	H31	R 5	R 8
小	—	—	—
中	88.4%	89.6%	90.1%

参考全国 R8
—
87.6%

英語の勉強は得意だ

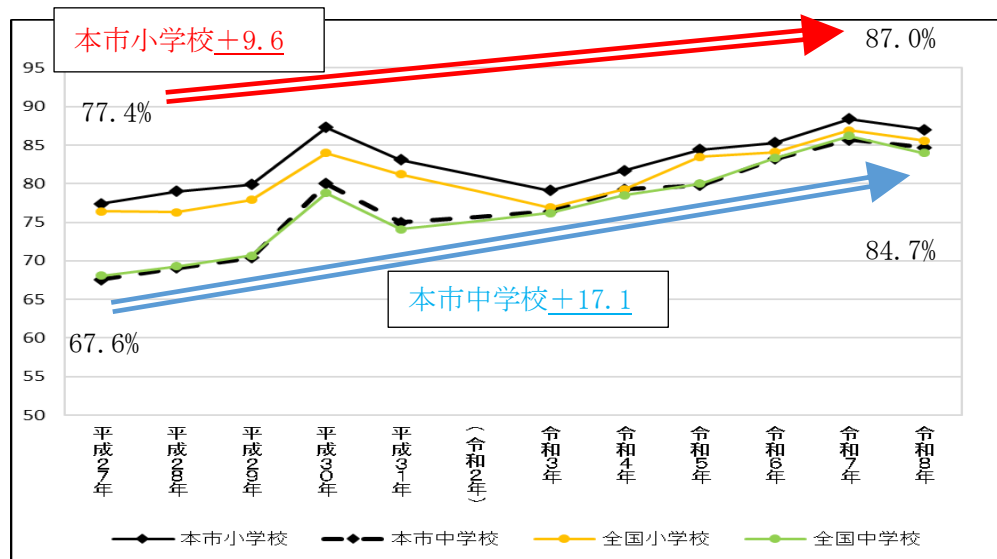
	R 8	参考全国 R8
小	58.2%	59.8%
中	44.1%	39.5%

(2) 規範意識、自己有用感等

- ・比較数値 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した肯定的な割合
- ・注目結果 平成27年度と比較して、±5ポイント以上の開きがある場合は、⇒をつけた。(赤：小学校、青：中学校)

平成27年度と比較すると、「自分にはよいところがあると思う」について、小学校では9.6ポイント、中学校では17.1ポイント高くなった。また「将来の夢を持っている」については、小学校、中学校ともに全国と同水準となってきた。

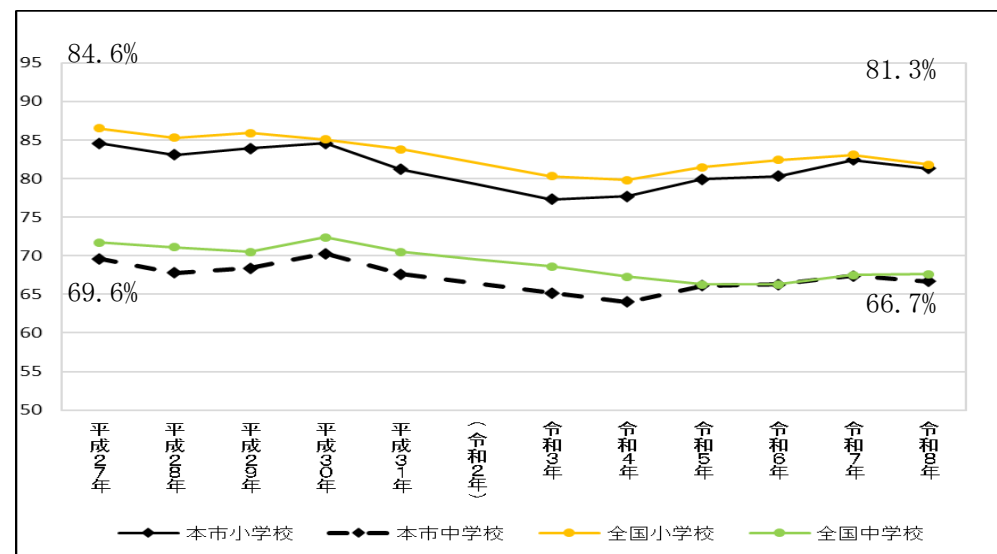
自分にはよいところがあると思う



	H27	H28	H29	H30	H31	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
小	77.4%	79.0%	79.9%	87.3%	83.1%	79.1%	81.7%	84.4%	85.3%	88.4%	87.0%
中	67.6%	69.1%	70.4%	80.0%	75.0%	76.4%	79.3%	79.8%	83.2%	85.7%	84.7%

	参考全国 R8
小	85.6%
中	84.0%

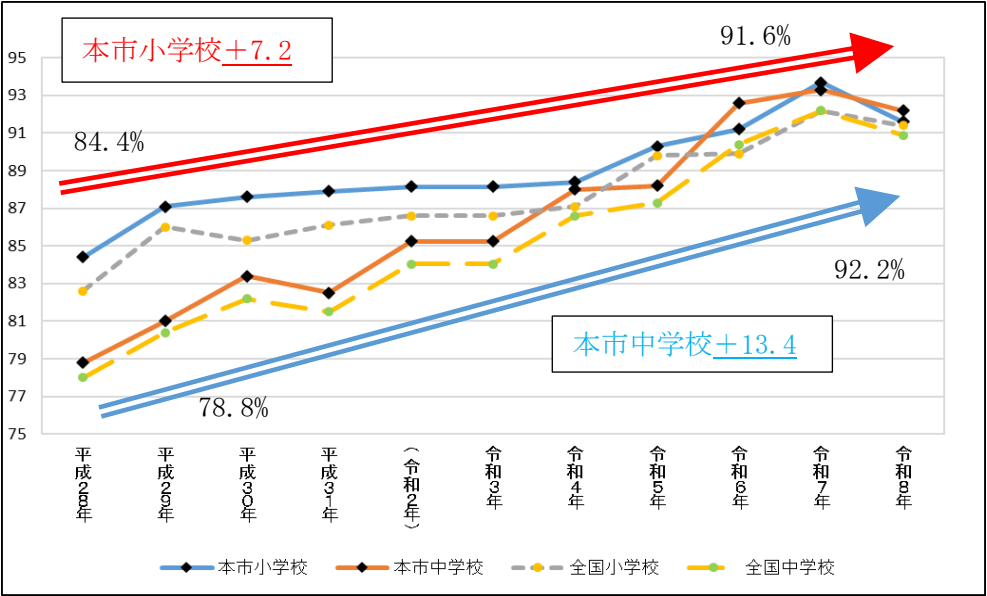
将来の夢や、目標を持っている



	H27	H28	H29	H30	H31	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
小	84.6%	83.1%	83.9%	84.6%	81.2%	77.3%	77.7%	79.9%	80.3%	82.4%	81.3%
中	69.6%	67.8%	68.4%	70.3%	67.6%	65.2%	64.0%	66.1%	66.3%	67.4%	66.7%

	参考全国 R8
小	81.8%
中	67.6%

先生は、自分のよいところを認めてくれると思う。



	H27	H28	H29	H30	H31	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
小	—	84.4%	87.1%	87.6%	87.9%	—	88.4%	90.3%	91.2%	93.7%	91.6%
中	—	78.8%	81.0%	83.4%	82.5%	—	88.0%	88.2%	92.6%	93.3%	92.2%

	参考全国 R8
小	91.4%
中	90.9%

- ・比較数値 「ほぼ毎日使用している」と回答した割合、「ほぼ毎日」と「週3回以上使用している」と回答した合計の割合
- ・注目結果 令和4年度や全国と比較して、±5ポイント以上の開きがある場合は、下線をつけた。

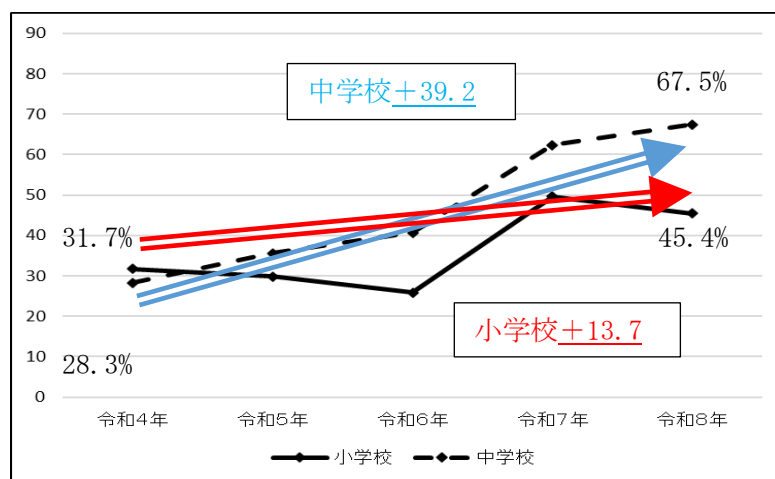
(3) ICTを活用した学習状況

「ほぼ毎日」と回答した合計の割合について、令和4年度と比較すると、小学校では13.7ポイント、中学校では39.2ポイント高くなった。また、「ほぼ毎日」と「週3回以上使用している」と回答した合計の割合について、令和4年度と比較すると、小学校では6.9ポイント、中学校では25.0ポイント高くなった。

5年生まで（中学校1、2年生の時）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICTを、どの程度使用しましたか。

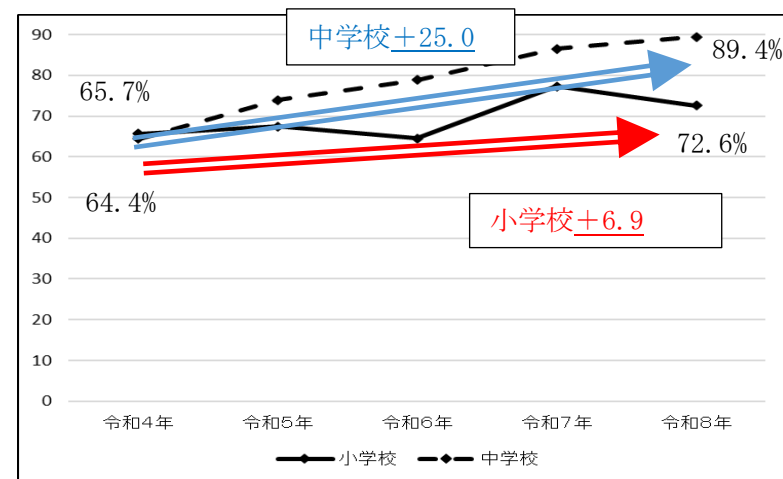
「ほぼ毎日使用している」と回答した割合

(1日に1回くらいの授業と1日に複数の授業で活用と回答した合計)



	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8		参考全国 R8
小	31.7%	29.8%	25.9%	49.7%	45.4%	小	43.0%
中	28.3%	35.6%	40.7%	62.4%	67.5%	中	55.1%

「ほぼ毎日使用している」と「週3回以上使用している」と回答した合計の割合



	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8		参考全国 R8
小	65.7%	67.4%	64.5%	77.3%	72.6%	小	68.8%
中	64.4%	73.9%	78.9%	86.5%	89.4%	中	78.2%

(4) 地域や社会に関わる活動の実施状況等

- ・比較数値 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合
- ・注目結果 令和5年度や全国と比較して、±5ポイント以上の開きがある場合は、下線をつけた。

令和5年度と比較すると、小学校では1.7ポイント、中学校では10.5ポイント高くなった。

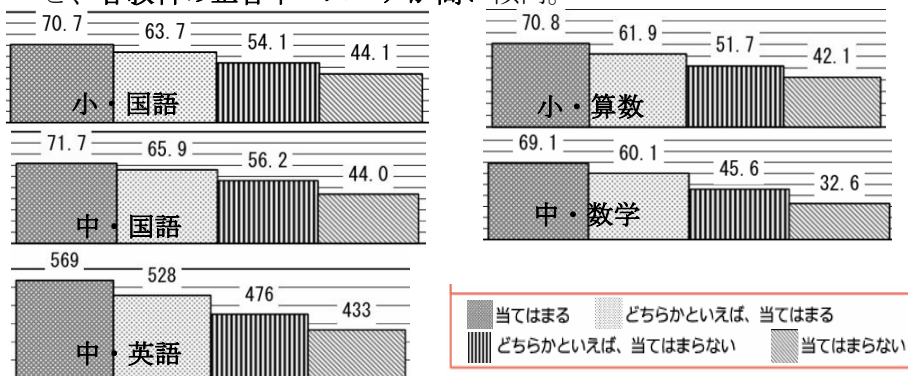
平成28年度から全市で取り組んできた「キャリア在り方生き方教育」を土台とし、子どもたちが自分が住む地域との関わりを自分事として捉えて、主体的に学習している成果と捉えている。

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

	R 5	R 6	R 7	R 8	R 5との 比較	全国 (R 8)	全国との 比較
小学校	80.0%	85.4%	84.5%	81.7%	1.7	80.1%	1.6
中学校	59.5%	75.2%	73.6%	70.0%	<u>10.5</u>	72.3%	-2.3

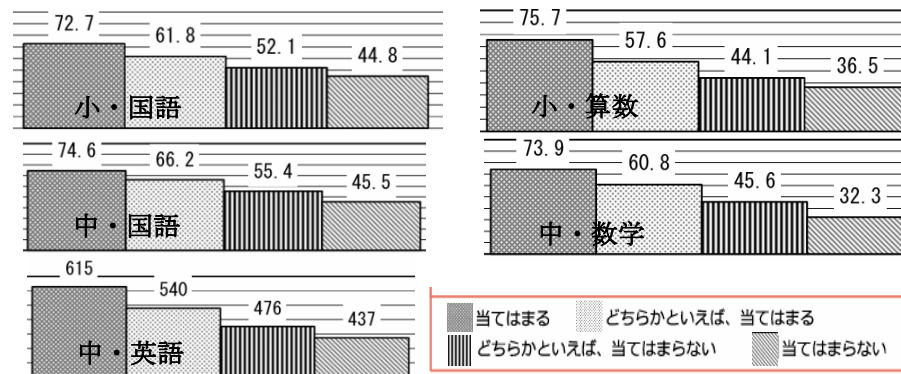
学習指導要領の趣旨を踏まえた取組

◆「課題の解決に向けて自分から取り組んだ」と回答した児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向。



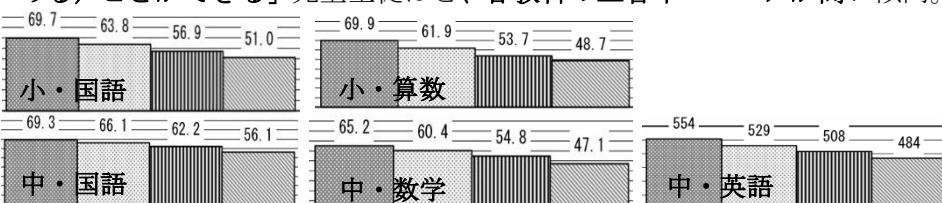
各教科への理解度

◆「授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向。

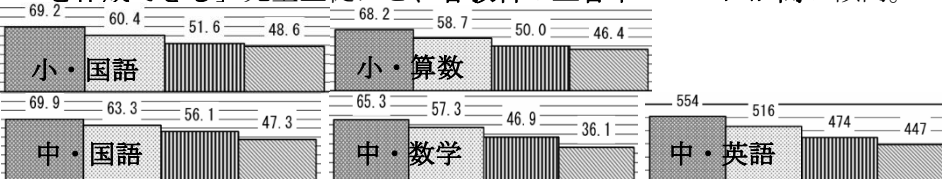


ICT 機器の活用

◆「ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフなどを使ってまとめる）ことができる」児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向。



◆「ICT 機器を使って学校の活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成できる」児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向。



学校外での過ごし方

◆SNS や動画視聴等の利用時間が長い児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが低い傾向。

